

新 毎 日 新 聞

名大・柴田教授 「椿賞」を贈る

名駅ロータリー

名古屋名駅ロータリークラブ(田口望会長)は10日、より良い社会環境作りに努力している個人・団体を顕彰する「椿賞」(賞金100万円)を、名古屋大学アイソトープ総合センターの柴田理尋教授(50)に贈った。クラブ創立以来毎年贈られ、今年は22回目。

陽子と中性子で構成される原子核の種類は理論上6000以上とも8000以上とも考えられている。安定なものは300弱に過ぎず、残りは崩壊する不

安定核で、これまでに確認されているものも全体の半分以上程度に過ぎない。

同センターは、加速器や原子炉を利用して人工的につくった不安定核の放射線計測を通して、未知の原子核の探索や不安定核の壊変特性解明を進めている。また、新しい検出器や解析法を開発している。

【三鬼治】



田口望会長から椿賞を受ける柴田理尋・名大アイソトープ総合センター教授(右) 〓名古屋市中村区で